



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 CKD株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6407 URL <https://www.ckd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥岡 克仁
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 竹澤 正 (TEL) 0568-74-1006
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	80,213	18.3	10,175	18.6	10,222	17.9	7,039	15.8
2022年3月期第2四半期	67,812	35.8	8,582	256.7	8,667	250.4	6,081	275.7

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 8,529百万円(38.7%) 2022年3月期第2四半期 6,151百万円(113.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	105.56	—
2022年3月期第2四半期	91.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	181,322	115,510	63.7
2022年3月期	172,514	109,571	63.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 115,510百万円 2022年3月期 109,571百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	28.00	—	39.00	67.00
2023年3月期	—	42.00			
2023年3月期(予想)			—	42.00	84.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	12.5	20,500	14.7	20,550	13.9	14,000	11.4	209.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期2Q	67,909,449株	2022年3月期	67,909,449株
2023年3月期2Q	1,217,852株	2022年3月期	1,234,074株
2023年3月期2Q	66,682,348株	2022年3月期2Q	66,638,880株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2022年11月11日に機関投資家・アナリスト向け説明会を電話会議にて開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料につきましては、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	11
〔生産、受注及び販売の状況〕	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染対策と社会経済活動の両立による制限緩和を背景に、景気は緩やかに回復してまいりましたが、原材料価格の高騰や半導体をはじめとする部品の供給制約などの影響がみられました。

また、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴うエネルギー価格の上昇、急激な円安の進行による物価の上昇などから景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

設備投資は、企業収益の持ち直しや環境などの成長分野への取組みにより回復が進みました。また、製造業全般における自動化投資や電子産業における情報通信技術の用途の拡がりを背景とした投資は継続して行われ、堅調に推移しました。

海外経済は、欧米を中心に各国におけるコロナ禍からの立ち直りが奏功し、底堅い回復が続きました。東南アジアでは、活動制限が緩和される中、経済活動の再開が進み、輸出の増加とともに景気が回復しました。中国では、生産活動におけるロックダウンからの正常化に向けた動きがみられ、半導体や電池産業を中心に投資が継続しました。

このような状況のもとで、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高80,213百万円（前年同四半期比18.3%増）、営業利益10,175百万円（前年同四半期比18.6%増）、経常利益10,222百万円（前年同四半期比17.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7,039百万円（前年同四半期比15.8%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 自動機械部門

自動包装システムでは、薬品向けの売上高は減少したものの、食品向けの売上高が増加いたしました。また、産業機械では、三次元はんだ印刷検査機及びリチウムイオン電池製造システムの売上高が増加いたしました。

その結果、売上高は7,856百万円（前年同四半期比8.4%増）、セグメント利益はセールスマックスの変化により、674百万円（前年同四半期比32.7%減）となりました。

② 機器部門

国内市場では、データセンターや車載向けに堅調な半導体需要を背景に、半導体製造装置向け売上高が増加いたしました。また、工作機械向けや環境対応車に関連した製造設備向け売上高は引き続き堅調に推移いたしました。

海外市場では、生産活動におけるロックダウンからの正常化に向けた動きがみられた中国、半導体設備投資が堅調だった韓国や台湾などで売上高が増加いたしました。また、コロナ禍からの回復が続いた欧米と東南アジアの売上高も増加いたしました。

その結果、売上高は72,357百万円（前年同四半期比19.5%増）、セグメント利益は売上高増加に円安傾向による為替の影響も加わり、11,778百万円（前年同四半期比23.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8,807百万円増加の181,322百万円となりました。これは主に、現金及び預金が減少したものの、売上債権、棚卸資産及び有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,868百万円増加の65,811百万円となりました。これは主に、未払賞与及び借入金が増加したものの、仕入債務及び賞与引当金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5,938百万円増加の115,510百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ0.2ポイント増加の63.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ675百万円減少の33,352百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、6,428百万円（前年同四半期比0.8%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益10,284百万円、減価償却費3,148百万円、賞与引当金の増加3,536百万円、仕入債務の増加2,164百万円による資金の増加、未払賞与の減少3,129百万円、売上債権及び契約資産の増加1,377百万円、棚卸資産の増加5,061百万円、法人税等の支払額3,886百万円による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、3,578百万円（前年同四半期比7.9%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3,593百万円による資金の減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、3,961百万円（前年同四半期比35.9%増）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,600百万円、配当金の支払額2,595百万円による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済の見通しは、部品不足や原材料高騰などのサプライチェーンリスクに加え、米中間の貿易摩擦が及ぼす影響、さらに地政学的リスクや為替変動が及ぼす影響など、引き続き下振れリスクが高く、予断を許さない情勢が続いております。

そのような中、当社グループを取り巻く事業環境は、中長期で成長が見込まれる製造業の自動化・省人化需要、半導体設備投資といった電子産業における投資、自動車の電動化に向けた需要等により、国内及び海外において足元の受注は堅調に推移していることから、2022年5月13日に発表いたしました通期連結業績予想を下記のとおり上方修正いたします。

なお、2022年10月1日から2023年3月31日までの期間における為替レートは、第1四半期決算発表時点から見直し、1米ドル120円から140円といたします。

2023年3月期 通期 連結業績予想数値の修正

(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 146,000	百万円 18,500	百万円 18,500	百万円 13,000
今回修正予想（B）	160,000	20,500	20,550	14,000
増減額（B－A）	14,000	2,000	2,050	1,000
増減率（％）	9.6	10.8	11.1	7.7
（参考）前期実績 （2022年3月期）	142,199	17,879	18,043	12,567

この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

なお、該当予想数値の修正に関する事項は、本日（2022年11月11日）公表いたしました「第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異、通期連結業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,527	33,956
受取手形、売掛金及び契約資産	28,702	31,076
電子記録債権	5,961	5,951
営業未収入金	243	241
商品及び製品	10,468	10,639
仕掛品	4,159	5,117
原材料及び貯蔵品	30,135	34,913
その他	2,044	1,585
貸倒引当金	△55	△67
流動資産合計	116,188	123,413
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,510	22,152
その他（純額）	22,509	23,763
有形固定資産合計	44,019	45,916
無形固定資産	1,107	1,161
投資その他の資産	11,199	10,830
固定資産合計	56,326	57,908
資産合計	172,514	181,322

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,354	22,589
電子記録債務	4,387	5,297
短期借入金	11,735	11,493
未払法人税等	3,908	3,420
賞与引当金	495	4,058
その他の引当金	388	564
その他	12,233	8,985
流動負債合計	53,503	56,409
固定負債		
長期借入金	5,634	5,303
その他の引当金	2	2
退職給付に係る負債	458	495
その他	3,344	3,601
固定負債合計	9,439	9,402
負債合計	62,942	65,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	16,364	16,383
利益剰余金	75,440	79,858
自己株式	△867	△856
株主資本合計	101,954	106,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,274	3,048
為替換算調整勘定	4,429	6,118
退職給付に係る調整累計額	△85	△58
その他の包括利益累計額合計	7,617	9,108
純資産合計	109,571	115,510
負債純資産合計	172,514	181,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	67,812	80,213
売上原価	48,057	57,175
売上総利益	19,754	23,037
販売費及び一般管理費	11,172	12,862
営業利益	8,582	10,175
営業外収益		
受取利息	9	33
受取配当金	81	127
持分法による投資利益	5	—
為替差益	—	72
補助金収入	43	60
その他	121	165
営業外収益合計	261	459
営業外費用		
支払利息	105	150
デリバティブ評価損	4	93
為替差損	51	—
その他	14	167
営業外費用合計	176	411
経常利益	8,667	10,222
特別利益		
段階取得に係る差益	—	62
補助金収入	176	21
その他	0	—
特別利益合計	176	83
特別損失		
固定資産圧縮損	142	21
その他	35	0
特別損失合計	178	21
税金等調整前四半期純利益	8,665	10,284
法人税、住民税及び事業税	2,665	3,364
法人税等調整額	△95	△119
法人税等合計	2,569	3,244
四半期純利益	6,095	7,039
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,081	7,039

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	6,095	7,039
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92	△226
為替換算調整勘定	145	1,688
退職給付に係る調整額	1	27
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	—
その他の包括利益合計	55	1,490
四半期包括利益	6,151	8,529
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,140	8,529
非支配株主に係る四半期包括利益	10	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,665	10,284
減価償却費	2,747	3,148
持分法による投資損益 (△は益)	△5	—
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	△62
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,219	3,536
未払賞与の増減額 (△は減少)	△2,190	△3,129
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	79	△8
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△4,467	△1,377
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,314	△5,061
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,016	2,164
前受金の増減額 (△は減少)	21	△412
その他	339	1,132
小計	8,111	10,214
利息及び配当金の受取額	91	160
利息の支払額	△104	△143
法人税等の支払額	△1,803	△3,886
法人税等の還付額	0	47
補助金の受取額	182	36
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,478	6,428
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4	△340
定期預金の払戻による収入	—	538
有形固定資産の取得による支出	△3,286	△3,593
無形固定資産の取得による支出	△131	△138
投資有価証券の取得による支出	△4	△124
投資有価証券の償還による収入	100	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	52
その他	8	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,317	△3,578
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	161	145
長期借入れによる収入	—	270
長期借入金の返済による支出	△1,797	△1,600
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,131	△2,595
リース債務の返済による支出	△120	△181
その他	△28	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,916	△3,961
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32	437
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	213	△675
現金及び現金同等物の期首残高	35,913	34,027
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,126	33,352

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASU第2016-02号「リース」の適用)

米国会計基準を適用している在外子会社において、ASU第2016-02号「リース」(2016年2月25日。以下「ASU第2016-02号」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

ASU第2016-02号の適用により、借手のリースは、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識しています。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,248	60,564	67,812	—	67,812
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	56	56	△56	—
計	7,248	60,621	67,869	△56	67,812
セグメント利益	1,001	9,533	10,534	△1,952	8,582

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,952百万円には、セグメント間取引消去15百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,967百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにC K Dグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,856	72,357	80,213	—	80,213
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	70	70	△70	—
計	7,856	72,427	80,283	△70	80,213
セグメント利益	674	11,778	12,452	△2,277	10,175

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,277百万円には、セグメント間取引消去15百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,292百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにC K Dグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

〔生産、受注及び販売の状況〕

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	7,261	△0.2
機 器 部 門	73,480	+19.0
合 計	80,742	+17.0

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 金額は、販売価格によっております。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	9,233	+23.6	14,391	+13.3

- (注) 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	7,856	+8.4
機 器 部 門	72,357	+19.5
合 計	80,213	+18.3

- (注) セグメント間取引については、相殺消去しております。